

# 令和4年度自己評価公表シート

令和 5年 5月30日

学校法人修道幼稚園

氏名 園長 村山留美子

## ■自己評価の目的

自己評価は、園の取組みを振り返り、自園の良さや特色、運営の状況等を確認し、教育・保育活動がより一層充実するよう、改善の方向を明確にするために実施します。

自己評価の取組みを通じて、園として、今後重点的に取組むべきことは何かをみんなで考えましょう。

尚、自己評価は、個人を評価するものではありません、園全体としての状況や課題を把握するものです。各評価項目について、自身の考えや想いを率直に記入してください。

## 【評価基準】

A：十分達成されている。 B：達成されている。 C：取組まれているが成果が十分でない。

D：取組みが不十分である。

以下の評価は、令和5年5月10日、学校関係者評価委員による評価をもとに記入作成されたものです。

自己評価項目	評価	具体的に取組めたこと、現状、成果など	今後の課題
教育・保育方針・目標	A	認定こども園として教育・保育目標を教職員全てに理解をしていただいた。	全ての教職員に理解を求める
教育課程の編成	A	教育の部・保育の部と分けることなく全園児に提供した。	新任教員にも理解していただくよう指導する
指導計画の作成と評価	B	教職員全般に理解していると思う	お互いに研究し合っにより良い事例を作っ欲しい
教育・保育環境の構成	B	十分とは言えないが工夫をしている	低年齢児用遊具の設置をした。
	B	運動場の拡張はできないが、十分できている	運動場の人工芝の改善が必要
教員同士の協力・連携	A	十分理解し工夫もしている。	園児数の増加でこれからどれだけ出来るか心配
研修・研究への取組み	B	研修参加が土曜保育のためにできない教職員が増えている	お互いに都合をつけ研修を積極的にするよう促す

研修・研究への取り組み	療育専門機関と連携を図りながら、障がいのある幼児に対する保育のあり方について研修・研究を行っている。	C	障がい児研究・研修をすることが大事だ	機会を捉え研修に参加する
安全管理体制の整備	緊急時（事故やけが、感染症の発生時）の対応手順について、全教職員が共通理解をもてるよう取り組んでいる。	A	避難訓練等である程度理解している 園内警備は専任職員を配置	普段より園児たちに避難を理解するよう指導したい
	事故の発生を未然に防ぐために、園内の危険箇所や危険な遊び方などについて、教職員間で話し合う仕組みが機能している。	A	絶えず教職員の監視の元、遊んでいるが教職員全てが理解している	新任教員にも理解を深める必要がある
	施設・設備は常に整備され、室内は清潔で整理整頓が行き届いている。	A	毎朝の点検と終業時の点検をしている	常に整理整頓を心掛ける

■この評価をもとに取り組んでいきたい課題

- \* 教育・保育目標や方針を教職員全員で再度見直し、より良い方針を作成したい。
- \* 園庭の拡張や、低年齢児用遊具の設置、遊具の老朽化対策を必要とし、園児の増加に伴い、教職員の増員が急務である。
- \* 各教室に担任用机を配置する。
- \* 施設設備充実として、人工芝の張替えを行う。
- \* 次年度園児数も約160名となる予定。
- \* 教員同士は数が多くなるにつれて、調和が難しくなると思うがリーダーがしっかりとして仲よくすることで園児の保育指導につながる
- \* 研修をしっかり受けることが必要
- \* 避難訓練には地域と共に参加することが必要で積極的に地域の行事にも参加する
- \* 地域の祭礼等に積極的に参加したい。

## 学校評価委員による意見書

### 教育保育方針について

子供たちの育ちに応じた教育方針を策定してはどうか

### 教育課程の編成

新任教員に研修をして成長してくれることを望む

こども園教育・保育要領を教職員全員に今一度研修してはどうか

### 指導計画の作成

指導者の方も研修をして若い教職員にもよくわかるような指導を心掛けてください

### 教育保育の環境

狭い園庭をうまく使い伸び伸びとした運動のできるようになっている

特に乳幼児の遊具配置がよくできている

### 教員同士の連携

現時点で意思疎通ができていていると思うが、教職員の増加により壊れないか心配です

### 研修と研究

忙しいと思うが都合をつけて積極的に研修を受けてください

### 安全管理

子供たちの安全管理は気を遣う面があるが一番は子どもの安全安心のため積極的に取り組んでください

以上を評価委員の意見として今後の園の取り組みを期待します

令和5年5月10日

評価委員 青木 衛

長谷川 安二

上村 祐子

出席 大熊 信行 村山 留美子